

番 号	23請願第1号 (まちづくり環境付託)
受理年月日	平成23年6月7日
件 名	三鷹市内の小・中学校及び幼稚園・保育園の施設における放射性物質の測定とその情報の開示、給食食材の安全性の確認について
提 出 者	三鷹市在住 柳澤 麻耶 ほか 5名
紹介議員	緒方 一郎、大城 美幸
要 旨	
<p>〔趣旨〕</p> <p>三鷹市長及び市議会・市議会議員の皆様、教育委員会並びに市役所関連部課の皆様においては日ごろから児童・生徒の安全について御配慮いただき深く感謝しております。</p> <p>東日本大震災の影響を受けた東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、放射性物質の拡散は同心円上に均一に起こるものではなく、風向き、天候、地形に大きく左右されることが政府や学術機関からの調査発表を通じ明らかとなりました。福島第一原子力発電所から約200キロメートル離れたここ三鷹市においても放射性物質が今回の事故後どのように蓄積し、成長過程にある子どもたちの体に将来どのような影響を及ぼすのか、不確定な要素が多く保護者として不安を抱いております。</p> <p>これからも安心して三鷹市で子育てを続けていくためにも以下のようにお願いいたします。家庭以外に子どもたちの居場所である小・中学校・幼稚園・保育園の施設において、予防的観点から外部被曝及び内部被曝の総量を市が把握し、保護者に情報共有することで、その測定結果に基づいて被曝を低減させるための判断ができるよう切に要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市内の小・中学校・幼稚園・保育園において三鷹市あるいは専門機関が放射性物質の測定と数値の把握を継続的に行うこと。</li> <li>予防的観点から子どもたちの食と水の安全を確認するための最大限の努力をすること。</li> <li>放射性物質の測定により把握された数値の継続的なデータを情報公開すること。</li> </ol> <p>社会の未来を担う子どもたちにとって、長期間に及ぶ低線量被曝や体内に取り込</p>	

だ放射性物質がその体にどのように影響を及ぼすのか、科学的にも不確定な状況においては児童・生徒の安全と安心を第一に学校活動や幼稚園・保育園での活動を行うことが必要であり、予防的観点から具体的な施策を行ってくださいますようお願い申し上げます。